

白、森小国から

前回お伝えした通り、オフロードコース AREA-D がほぼ完成した。走りたくなったらいつでも自由に使える、自分たちのグレンデだ。長年の夢が叶った。でもそれだけでは終わらせない。ジムニーや小国町の素晴らしさをさらに広めるため、あることを計画しているのだ!

文 / 今修
写真 / K-PRODUCTS



念願が叶った1年

1年が過ぎるのは本当に早いっすね。スーパースーザーも2012年度の最終号で、今年も残すところ1ヵ月!今年も本当に忙しくも楽しい1年だった。

なんと言っても今年は、念願のオフロードコース・AREA-Dをオープンさせたことが1番の出来事だ!小国町なんかは見渡す限り山ばかりなのにオフロードコースに使えるような土地がなく、ようやく見つかったと思えば色々な問題が出て来てダメになる…。そんな事を何年もやっていたのでいい加減イヤになって一旦は諦めかけていたのだが、周りからの応援が続いたこともあって、やっとのことで土地が見つかりコースもほぼ完成した。

そして今年はめちゃくちゃ暑い夏だった。上半身裸になりサンオイルを塗りまくって、日焼けしながらコースの草刈りを何度やった事か…。挙句の果てに漆にやられて両腕がブツブツになって病院へ行ったり、ホント忘れられない夏だった!

今まで小国町には車を走らせるコース的な施設はなかった。そのためか物珍しさもあって、コース作りの工事が始まってからは近隣の人や地元の観光にかかわっている人達も興味を持ち始めたようで、連日何人も見に来る状態だった。

しかし、物珍しさで見に来る人達だけならいいが、変な言いがかりをつけに来る人達もいないとは限らない。何事も初めてやる時は勇気があるものだけど、なるべくならトラブルは避けたい。とにかく

く見物人はコース作りを見に来ているのか?文句を言いたくて来ているのか?こちらとしても完成までは本当に神経をすり減らした。

プレオープンはしたけど、まだコースは100%完成した訳ではない。これから少しずつ手を加えてセクションを増やしていく。そして来年からはこの場所で色々なイベントを開催していきたい。

23年前の奇跡を再現する!

AREA-Dがプレオープンしてからは週末になると町外からオフローダーが小国町に来てくれる。そして大きい数ではないが、今までになかった事が起きているのも事実だ。

実は今回と似たような事を今から23年前にやった事がある。今ではメジャーになったスノーボードのハーフパイプのコースを、町営スキー場に常設するよう小国町に提案したのだ。

当時、スキー場にハーフパイプコースがあること自体が珍しく、そのほとんどが雪を集めて作られているコースばかり。しかし雪で作られているために気温の差や雪の降り加減で形が大きく変わり、そのコースの管理自体が難しい。しかも雪がある程度降らないとコースは作れないという問題点もある。

そこで提案したのが土を掘ってハーフパイプを作る事。しかし、日本ではまだ土を掘ってハーフパイプを作っているスキー場はなく、何をどうして作ったらいいか全

く分からなかった。

それでも諦めずに色々な手段を使い、遂に日本初の日本スノーボード協会公認のハーフパイプが完成した。そしてここではスノーボード東北選手権やプロサーキットなどが開催されたり、プロスノーボーダー達の合宿が行われたりして全国からスノーボーダーが集まるようになった。

今回のオフロードコース常設もこの時と似ている。出来ればAREA-Dの他にもいくつかのオフロードコースを町内に作り、県内外からオフローダーが小国町に集まってくれればと願っている。オフロードコースAREA-Dの常設はそんな考えもあっての事だった。

小国町の新町長に感謝!

今年7月に任期満了に伴う小国町長選が行われ、盛田信明氏が見事に初当選。新町長となった盛田信明氏と先日面談する機会があったので、オフロードコース常設について話をしてきた。

盛田町長とお会いするのは初めてなのでスーツで行くべきだと思ったが、今年になってダイエットで16kgも痩せたので今まで着ていたスーツはブッカブカ…。笑。「ま〜いいか!ビジネスに行くワケじゃないからジーンズとTシャツで行くか!」。

全くその通りで、仕事の話や商談に行くのではない。今後AREA-Dを使ってどんな事をやろうとしているのかを話に行くだけなのだ。それに対して町が少しでも興味を持ったりしてくれれば何かしらの

経済効果が生まれると思う。

面談の予定時間は1時30分。遅れる訳にはいけないので予定時間の10分前には町長室前にスタンバイ。待つ事10分、時間通りに町長室に案内される。

盛田信明町長だ!選挙運動で何度も見た顔だ!!早速名刺交換させて頂き、本題に入る。町長は分刻みで予定が入っているようなので手短かに自分の事だけをベラベラと喋りまくった。

喋りまくったと言っても、たいそうな事は言っていない。今後オフロードの大きなイベントをやる時など、現在のAREA-Dは狭いので、町の所有する場所を貸して欲しいことと、そのイベントを開催する時は協力をして欲しいという事だ。

断られても諦めない覚悟でいた。すると盛田町長は「自分としては大賛成です、全面的に協力させていただきます」と言ってくれた。

盛田町長は小国町の人口1万人復活と幸せのまちづくりを実現したいと言って

いる。人口1万人の復活…人口を増やすという事は仕事する場所がなければ実現しない問題だと思う。実際問題、小国町で一番大きな会社ですら景気が良いとは言えない状態が続き、希望退職などで人員削減を行っている…。そんな事を見据えて今後は観光に力を入れようとしているのかは分からないが、こちらの考えはわかってもらえたようだ。

小国町のために!

今、自分はジムニーに乗る事が楽しくてしかたない!何気なく暮らしていたが、気が付くと小国町には沢山の林道や素晴らしい自然がある。そして今年オフロードコースAREA-Dも出来た!昨年からの初めた林道ツーリングも宮城・福島・新潟・そして関東からも参加してもらえるようになった。小国町には他県にない素晴らしいものがある、それは自然であったり温泉であったり、食べ物であったりする。



盛田町長はAREA-Dのプレオープンイベントにご参加下さり、同乗でのクロカン走行も体験!

そんな小国町の事を、自分の得意なジムニーやオフロードコース&林道を使って少しでも多くの人達に知ってもらい、小国町に遊びに来てほしいと思っている。

ジムニーが好き、オフロードが好き!そして小国町が好きだから、大きい事は出来ないが、自分の好きな事、得意な事をやって、それが結果的に人助けや村おこしの事に繋がれば最高だと思っている。



「協力させていただきます」という盛田町長の言葉を聞いて心から感動!ジムニーとオフロード遊びで小国町を盛り上げて行くぞ!!